

「全力平中」

夢を語り、夢を追う生徒
笑顔 続ける 支え合う

【学校だより】
平戸市立平戸中学校
令和7年12月11日
文責 原田 誠

平戸中学校 人権集会



昨日の「世界人権デー」にあわせて、本校では「人権集会」を実施しました。準備にあたっては、**実行委員の生徒と人権教育担当の西村先生**が中心となり、計画を進めてきました。集会の前半では、実行委員による「人権意識アンケート」の報告、「人権啓発活動」の紹介、「平戸中学校人権宣言（案）」の発表、詩の朗読が行われました。後半は、北松地区人権教育研究協議会研究局長の田原先生をお招きし、講演をしていただきました。私からも、集会の中で次のようなお話をしました（一部抜粋）。「『人権を知る』ことは大切な一歩ですが、実際に行動に移してこそ学びが生きてきます。校長として私が願っているのは、平戸中学校が、生徒と先生方にとて『生活しやすく、安心できる居場所』になることです。私が考える『生活しやすい学校』とは、いじめがなく、笑顔が多い学校です。そして、生徒も先生も、どちらも「笑顔で授業ができる」ことが理想です。しかし、今の平戸中学校を見てみると、残念ながらその理想が十分に実現できているとは言えません。生徒や先生が寂しそうな表情を浮かべる場面があり、その姿を見るたびに胸が痛みます。だからこそ、今日の人権集会をきっかけに、一人一人が相手の気持ちを考え、思いやりをもって行動してほしいと願っています。きっと、今まで以上に笑顔があふれる平戸中学校になると信じています。生徒の皆さんと先生方で、居心地のよい学校をつくっていきましょう。」

今回の人権学習・人権集会を通して、私たちと生徒が人権意識をさらに高め、これまで以上に笑顔あふれる平戸中学校となることを心より願っています。

平戸中学校人権宣言

人はみな生まれながらに等しく自由で、他人にゆずりわたしたり、侵されたりすることのない生まれながらの権利を持っています。しかし、私たちの身の周りにはさまざまな人権問題があります。みなさんは自分の言動で周りの人を傷つけていませんか。周りに傷ついている人はいませんか。改めて自分の言動を見つめ、周りの人を見つめ、誰もが安心・安全な平戸中学校を築いていきましょう。のために、私たちは今年度も各学年で人権学習を行いました。

1年生は「身近な人権について考える」をテーマとして、アイマスク体験や車いす体験を行ったり、田中恵美子さんの講話を聴いたりしました。これらの学習から、身体や目が不自由なことの大変さ、どんなことがあろうと前を向いて生きる大変さなどを学びました。これからは、相手の立場や気持ちを理解し、言葉遣いなどに気を付けていきたいと思います。

2年生は「つなぐとかわる」をテーマとして、ペア活動やグループ活動を中心に人との関わり方について学習しました。人と話をする時は、聞く時の姿勢や相手の意思を尊重しながら自分の意思も伝え、お互いが納得できるように話し合うことが大切です。そのため、言葉遣いに気を付けながら、相手の意見を聞くだけではなく、自分の意見も伝えなければならないということを学びました。これからは、言葉遣いや話の聞き方を意識しながら人と関わっていきたいと思います。

3年生は「就職差別」をテーマとして、同和問題や面接時に起こり得る差別的質問や発言について学習しました。これらの学習から、差別解消への法律が定められていたとしても、人々の中には、無意識に差別をしてしまっているという現実を知りました。差別を完全になくすことは簡単ではありません。しかし、一人一人が相手の考え方を尊重し、自分の言動に責任を持つこと、差別のない世界を目指すために、私たちが人権集会を行い、受けついでいくことが重要なことではないかと思います。

平戸中学校生徒は、誰もが安心・安全な学校生活を送れるように、次のことを宣言します。

- 第一条 相手の立場や気持ちを考え、自分の言動に責任を持ちます。
- 第二条 誰にでも態度を変えず、公正・公平に接します。
- 第三条 一人一人のちがいを認め合い、自分らしくいられる安心・安全な学校・学級づくりに努めます。

令和7年12月10日

平戸市立平戸中学校人権集会実行委員会

